

# 自治ひょうご

1384号

## 当面の日程

- 9日 第7回執行委員・専従者会議(県本部)
- 12~13日 2012年度自治労安全衛生講座(自治労会館)
- 14日 財政分析・財政活動家養成講座(共済会館)

2012. 4. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円  
購読料は組合費に含まれる。  
自治労兵庫県本部  
書記長/森蔭 守・編集人/西岡 裕



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部  
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920  
E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

## 自治労への加盟が 組合活動の安心感に



光有会労組の榎本委員長

り、労働条件の維持改善が課題と話していただいた。精神障害者への社会的偏見を払しょくするためにも、支え合う近隣住民との関係がとりわけ重要とのこと。

榎本委員長は1975年生まれ、大学は工学部で障害者が運転できる自動車の開発研究をしようと自動車メーカーに入社した。その後、障害者福祉に関心を持ち資格を取って、光有会に就職。現在、母子生活支援施設「夢野母子ホーム」で3交代勤務に従事している。組合では2年前に委員長に就任した。

そのような榎本委員長に、自治労加盟のいきさつを聞くと、組合の取り組みで何をしたいのかと考え、そのとき、ネットを見て自治労の存在を知った。電話で相談したのがきっかけで安井オルグと出会い、自治労加盟に結び付いた。何かあればいつでも相談でき、組合活動を進めるうえで安心感があると、さわやかな笑顔で語っていただいた。利用者にとってかけがえのない施設の充実と、労働条件の維持改善に向けた活躍に期待する。

2月10日の県本部中央員会が加盟承認した、神戸光有会労働組合の榎本一三委員長から自治労加盟のいきさつなどを伺った。

神戸光有会は、老人介護、障害者自立支援、母子・児童福祉などの事業を行う社会福祉法人。その歴史は古く昨年で120周年。労働組合は1983年4月28日、種々の妨害をのり越え、神戸報国会議労働組合として結成大会が行われている。

現在の職員は約120人で、約8割を女性が占める。組合員は70人で4月以降のチェックオフ協定の締結が課題という。また、職員の世代交代が進み組合活動の活性化が求められるため、月1回の組合ニュースで情報伝達に努めているとのこと。労働条件では、これまでの神戸市準拠が基本から、国公準拠への移行によ

## 仲間が待っています

新年度がはじまり、職場には新たな仲間が入っている。健康で働き続けるためには、職場に労働組合の存在が不可欠だ。今号では、播磨町職青年女性部の濱田英里さんから組合への思いを語ってもらった。また先日自治労加盟した光有会労組の榎本一三委員長に、自治労への期待を伺った。自治労の仲間は全国に81万人、地域の公共サービスを支えている。新規採用になったみなさん、組合に未加入のみなさん、力をあわせてよりよい職場環境を実現しよう。

## 交流がなければ、 権利取得もできない

「役場に就職したきっかけ、職場の状況を教えてください。」

私は加古川市に住んでいますが、播磨町は地元のようなもの。高校も播磨町です。親の実家もあります。「地元で働きたい」という思いが第一です。また役場に入る前に他の自治体で臨時職員の経験もあり、住民の生活に欠かせない大切な仕事だと感じていました。組合加入の経過を聞かせ

て下さい。

同期で5人が採用され、組合5役から加入の説明を

受けました。先輩からの「交流の場にもなるし入った方がいいよ」との後押しも



### 濱田英里さん

2010年、播磨町役場に採用。福祉グループで子ども手当を担当している。子ども手当が当り、システム変更、対象者への周知とバタバタしていたと話す。

あつて、特に迷うことなく加入しました。組合に入ってからメリットはありましたか。仕事で困ったことを話せるだけでも大きいと思います。私は福祉職場ですが、他の部署と連動した仕事もあります。そんなとき、組合の交流を通して知り合いがいたら頼みやすかった経験もあります。青年女性部のクリスマス会や食事会、勉強会は働きやすさにも繋がっていますね。活動するにも、人間関係がなければできませんね。臨時職員のときは、「来年の契約はこの額ですよ」といわれると何もいえない一言お願いします。公務員の仕事は地域住民のために働く大切な仕事ですが、そのためには職場環境が大切です。組合で職場について考え、改善することとは地域住民にも返ります。ぜひ組合に入ってください。

「働きたい職場環境です。月に1回は年休を取るようになっていっています。学習会や年休や超勤手当は権利だと学びました。日常会話の中で「明日は休むよ」「少しの残業でもサービスはやめよう」と話しながら権利を行使しています。4月から働くみなさんに一言お願いします。公務員の仕事は地域住民のために働く大切な仕事ですが、そのためには職場環境が大切です。組合で職場について考え、改善することとは地域住民にも返ります。ぜひ組合に入ってください。」

## 組合について、もっと知ろう 前期講座(基礎編)に参加を

- ◆ 4月27日(金)~28日(土)
- ◆ 新たんば荘(篠山市)

### 【1日目】

第I講座 「労働組合の歴史と今」  
講師：黒崎隆雄さん(神戸地区労務局長)  
グループ交流  
第II講座 「賃金の基礎・賃金闘争の課題」  
講師：津和崇さん(労働大学講師)

### 【2日目】

グループ交流  
第III講座 「公務員制度改革をめぐる情勢」  
講師：調整中

2日間の日程で、単組を越えた交流を深めよう

## 第22期県本部労働学校

## 支え合いが基本 — 共済活動 —

## 仲間とともに安心 安全のワーク・ライフを

45年前に立ち上がった「自治労共済」は組合員の相互扶助による制度です。営利事業ではありません。組合員の利益を追求していません。

1人でも多くの組合員が自治労共済に加入することが、自分を助け、仲間を助け、そして制度の内容をより有利なものにしていくことにつながります。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災でも被災組合員の生活再建に向けて大きく寄り添っています。「全てが組合員の利益につながる」これが自主福祉の本当の意味です。掛金設定、保障内容の充実だけでなく、手軽に所属組合で手続きができます。

自治労共済メニューも豊富です。

- 団体生命共済
- 長期共済・親子共済
- 自動車共済
- 火災・自然災害共済
- 公務員賠償責任保険

などをそろえています。詳しくは組合役員の方々にお尋ねください。

幸せは、ひとりじゃつけない  
**自治労共済**  
全日本自治体労働者共済生活協同組合  
http://www.jichiro-kyosai.jp/